

確かな読みの力を育て、
一人一人の読みを広げる

国語学習の在り方

～文学的な文章における学習指導
(書く活動)の工夫を通して～



つくば市立田井小学校

伊藤正市 外 全職員

本校の実態

- 筑波山を間近に臨む緑豊かな自然環境
- 全児童87名の小規模校
- 素直で明るい児童が多い。



研究主題

確かな読みの力を育て、
一人一人の読みを広げる
国語学習の在り方

～文学的な文章における学習指導
(書く活動)の工夫を通して～

主題設定の理由

学校教育の今日的課題から

ゆとり教育



「確かな学力」の向上

自分の考えを文章や言葉で表現

言語力の育成

他者と協調して生きていく力

本校の児童に当てはまる課題

国語科教育

主題設定の理由

本校の教育目標から

元 気 い っ ぱ い ,
笑顔あふれる楽しい学校

学び合い・考え・表現できる児童の育成

自分の考えを
まとめる

基礎基本の習得

相手の立場に
立って理解する

文章を確かに読む力

主題設定の理由

研究の経過から

平成19年度
「豊かな表現力を育てる国語学習の在り方」
～「書くこと」の指導を中心として～

新たな課題

課題を解決するための主体的な学びの態度

文章を読み深めるための学び方

研究のねらい

書く活動の効果的な学習方法を工夫することによって、確かな読みの力を育成し、一人一人の読みを広げる国語科学習の在り方を研究する。

研究の仮説

研究の仮説 (1)

目標の系統化

書く

身に付けたい力

読み取るための手だてが分かる

確かな読みの力を
育てることができる

研究の仮説

研究の仮説（2）

書く

書く活動を生かした交流の場の設定

相手意識・目的意識をもった構成

自分の読みを主体的に広げる

語彙の広がり

言語感覚

研究の内容

基本的な考え方

「物語の読み」について

『読み手を育てる～読者論から読書行為論～』より

読むという行為は、読者とテキストとの関係として成立する。

1 意味発見行為

- (1) 表現を通して書かれている事柄とその意味を捉える。
- (2) 語りの視点を捉え、作品の展開（テキストの構造）とその意味を捉える。

2 イメージ生成行為

- (1) 人物の立場に立って、その人物の内面を想像する。
- (2) 表現を通して、書かれている事柄の様子を想像する。

3 反応批評行為

- (1) 書かれている事柄について、視点人物の立場に立って感想をもったり、批評しる。
- (2) テキストの構造や言葉について、感想をもったり批評したりする。

「確かな読みの力」の柱として

研究の内容

基本的な考え方

「確かな読みの力」について

叙述に即して内容を正確に読み取ることができる力

読み取ったことを想像できる能力

叙述に即して正確に理解できる能力

言語事項についての知識・理解

書く活動を生かした
交流活動を通して

学習の目標, 内容,
方法を明確にした授
業研究

語意や文意を正しく読
む基礎・基本の定着

発達段階に応じた系統的指導

研究の内容

基本的な考え方

「確かな読みの力」をもった子どもの姿について

語句や文を手がかりとして、叙述に即して正確に読み取ることができる子ども

学年	「確かな読みの力」をもった子どもの姿
1・2年	<ul style="list-style-type: none">○ 語句や表現に注意しながら、<u>あらすじや書かれている事柄の大体を正しく読むことができる子ども</u>○ 場面の様子や<u>登場人物の気持ちなどについて想像を広げ、叙述と結びつけて読むことができる子ども</u>
3・4年	<ul style="list-style-type: none">○ 大切な語句や文を捉え、<u>叙述に即して正確に文章を読むことができる子ども</u>○ 叙述をもとに<u>場面の移り変わりや情景を想像して読むことができる子ども</u>
5・6年	<ul style="list-style-type: none">○ 場面構成や表現などを手がかりにして、<u>文章の内容を的確に押さえながら、主題を考えることができる子ども</u>○ 登場人物の人柄や考え方、心情の変化と叙述と関係付けて、<u>味わいながら読むことができる子ども</u>

研究の内容

基本的な考え方

「確かな読みの力」を支える「書く活動」について

自分の考えを整理する

書く

他者への働きかけ

文や語句を捉える

考えを深める

考えを明確にする

思考過程の記録

思考結果の記録

確かな読みの力

研究の内容

基本的な考え方

「一人一人の読みを広げる」とは

教材と関連する読書へと発展すること

読みを広げる
単元構成

読みの活動の
指導

相手意識
目的意識

交流活動の場

意図的
継続的

語彙や言語感覚が育つ活動

研究の内容

主題に迫るために

国語科授業の工夫改善

- ★ 単元指導計画の工夫
- ★ 授業研究
- ★ 指導援助(交流活動)

授業を支える取り組み

- ★ 「書くこと」を意識した取り組み
(「ことばで遊ぼう推進事業」を中心に)
- ★ 読書活動の充実
- ★ 語彙の獲得に向けた校内環境

研究の内容

主題に迫るために

国語科授業の工夫改善

★ 単元指導計画の工夫

広げよう		深めよう		読み取ろう			つかもう		時
10	15	15	10	7	8	2	1	学習内容	
<p>新美南吉の作品を読み、感想文を書く。</p>		<p>本の帯作りコース 読書会コース 音読発表会コース 発表会を開いて感想を伝え合う。</p>		<p>自分の取り組みたい学習方法を選択し、学習計画を立てる。 ごんから兵十への手紙を書く。 六の場面を読み、兵十とごんの気持ちを読み取る。 ごんから兵十への手紙を書く。</p>			<p>学習計画を立てる。 全文を通読し、初発の感想を書く。</p>		
				<p>一の場面を読み、ごんの行動と気持ちを読み取る。 二の場面を読み、ごんの行動と気持ちを読み取る。 三の場面を読み、ごんの行動と気持ちを読み取る。 四の場面を読み、ごんの行動と気持ちを読み取る。 五の場面を読み、ごんの行動と気持ちを読み取る。</p>					

学習の流れ 十六時間

ごんぎつね

〈一単位時間の基本的な学習指導過程〉～物語文～

つくば市立田井小学校

段階	学 習 活 動		書く活動の例
導 入	1 前時の学習を想起する。 2 本時学習課題を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習内容を確認する。 ・本時の学習場面を確認し、学習課 	
展 開	4 学習場면을音読する。 5 学習場면을読み深める。 一人学びにおける 「書く活動」	<ul style="list-style-type: none"> ・視点を明確にした音読をする。 ・課題について、一人学びをして読 み取る。 →叙述に即して場面の様子や情景、 心情などを読み取る。 →課題に対する自分なりの考えを まとめる。 ・個々が読み取ったことをもとに話 し合う。 →語句や文を根拠にして発表する。 	枠組み サイドライン 書き込み 部分視写 抜き書き 補い書き
終 末	6 学習のまとめをする。 まとめにおける 「書く活動」 (中・高学年) まとめの音読をする。 (低学年)	<ul style="list-style-type: none"> ・課題について読み取ったことをま とめ、交流する。 →話し合いを通して読み深めたこ とや板書を手がかりにして、ま とめる。 →感想をもち、ノートに書く。 ・読み取ったことを表現して音読す る。 	吹き出し 一人まとめ 手紙 感想

研究の内容

主題に迫るために

国語科授業の工夫改善

★ 指導援助(交流活動)

小グループでの話し合い

協調学習支援システム(KB)の活用

KB (Kneading Board)

ネットワークでつながれた複数のパソコンで、ひとつのワークシートをリアルタイムで共有し、概念地図 (concept map) を描くことを通して情報交換や討論ができるフリーのソフトウェアである。

研究の実践1 (低学年)

第2学年授業実践

人物がしたこと気に付けて読もう
「名前を見てちょうだい」

〈本時の目標〉

大男に立ち向かう主人公の様子を読み取り、気持ちを想像することができる。

目指す児童像

場面の様子や登場人物の気持ちについて想像を広げ、叙述と結びつけて読むことができる子ども

テーマに迫るための手立て

一人一人が登場人物の言動や文章中の語句に着目して、自分で内容を読み取るために書く活動を取り入れる。

読み取ったことを基に、様子や気持ちを十分に想像するための音読を取り入れる。

研究の実践1 (低学年)

第2学年授業実践

「どうして、そう考えたの？」



「あたしのぼうしをかえしなさい！」



研究の実践1 (低学年)

第2学年授業実践

一人一人が登場人物の言動や文章中の語句に着目して、

読み取ったことを基に、様子や気持ちを中心に想像するための音読を取り入れる。

The image shows a student's handwritten work with several annotations and drawings. At the top left, there is a small table with the title 'ふりかえり' and '今日の学習のふりかえりをしてみましょう。'. Below it, there are some checkboxes and a small drawing of a hand. To the right, there is a vertical text column: '名前()' and 'あまみきみこ'. In the center, there is a large drawing of a character's head with a speech bubble containing text: '① どうして えっちゃんは大男からにげずに、ぼうしをかえしてもらったのでしょうか。'. Another speech bubble says: '② ぼうしをとりもどしたいという強い気持ちがあつて書いてくるところを書きぬきましょう。'. To the right of this, there is a box containing text: '㊷ 大男に立ちむかっていた時のえっちゃんの様子や気持ちを読みとろう。'. At the bottom, there is a drawing of a hand and some text: '★その時のえっちゃんの気持ちを書いてみよう。' and '★すすくとおきしめしめするまはたか。' and '★たのしい心もちょうおはたか。'.



- ・主体的に自分の考えをもつ
- ・意見交流に役立つ

- ・相手意識, 目的意識
- ・「気持ちを考えながら読むことは楽しい。」

研究の実践2 (中学年)

第4学年授業実践

人物の気持ちの移り変わりを考えよう
「ごんぎつね」

〈本時の目標〉

ごんに対する兵十の気持ちの変化をつかみ、最後にうなずいたごんの気持ちを読み取る。

目指す児童像

大切な文や語句を捉え、叙述に即して正確に文章を読むことができる子ども

テーマに迫るための手立て

一人学びにおける「書く活動」

キーワードにサイドラインを引き付箋に気持ちを書き込む活動

協調学習支援システム(KB)を生かした情報の共有化

まとめにおける「書く活動」 ~ ごんの言葉を想像して書く

研究の実践2 (中学年)

第4学年授業実践

個人



班



全体

うなずいた時のごんの表情を書き込んでみよう。

兵十に伝えたかった言葉を想像して書いてみよう。



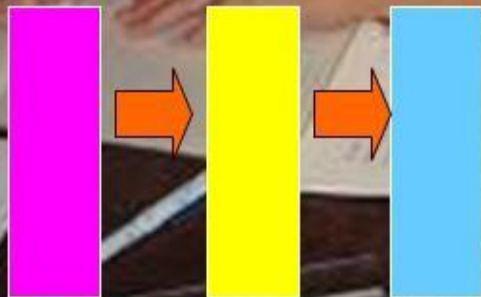
研究の実践2 (中学年)

第4学年授業実践

一人学びにおける「書く活動」
キーワードにサイドラインを引き付箋に気持ちを書き込む活動



個人



気持ちの変化を感じたら、
付箋の色を変える。

主体的に自分の考えをもつ

サイドラインに対して付箋
の色をかえたことは、気持ち
の変化を捉えやすい

意見交流に役立つ

研究の実践2 (中学年)

協調学習支援システム(KB)を生かした情報の共有化



プロジェクタでスクリーンに投影

班

全体

その時くる日、こんは、くりを持って、兵十のうらへ出かけた。兵十は、物置でなわをなっていました。それで、こんは、うらのうらから、こつちへ入りました。
そのとき、兵十は、ふと顔を上げました、と、まっねがうちの甲へ入ったではありませんか。こないだ、うなきをぬすみかかったあの「こんは」が、戻ってきたのです。
兵十は立ち上がって、なやにかけた火なわじゅうを取って、火薬をつめました。
そして、足音をのびせて近づいて、今、戸口を出ようとする「んを、ドンド、うちました。こんは、はたりとたおれました。兵十はかけまわってきました。うちの中を見たら、土間に、くりがかためて置かれたの目につきました。
「おや、兵十は、ひつりて、こんはを落としました。
「こん、お前だったのか。いつも、くりをくれたのは、」
兵十は、火なわじゅうをはたりと、取り落とししました。青いけむりが、まだ、つづつか細く出ていました。

PC

PC

PC

PC

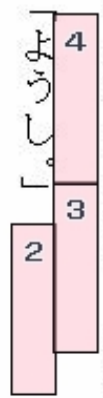
3人グループにノートパソコン1台

どの言葉から考えたのかな？

各々のパソコン画面で、各グループの考えが瞬時に判断できる。

その明るる日も、ごんは、くりを持って、兵十のうちへ出かけました。兵十は、物置でなわをなっていました。それで、ごんは、うちのうら口から、こっそり中へ入りました。

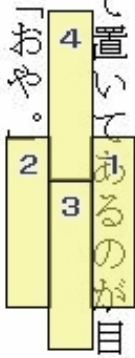
そのとき、兵十は、ふと顔を上げました。と、きつねがうちの中へ入ったではありませんか。こないだ、うなぎをぬすみやがったあのごんぎつねめが、またいたすら。木たな。



怒り

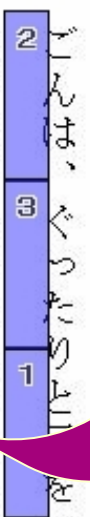
兵十は立ち上がって、なやにかいある火なわじゅうを取って、火薬をつめました。

そして、足音をしのばせて近よって、今戸口を出ようとするごんを、ドンと、うちました。ごんは、ばたばたとおれました。兵十はかけよってきました。うちの、土間、くりがめ

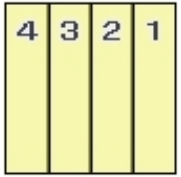


驚き

と、兵十は、びっくして、ごんを落とす。ごんは、ぐったりして、ごんは、火なわじゅうをばたりと、取り落とす。ごんは、うら口から細く出ていました。



後悔



会話や言葉に注目させながら、グループの考えがリアルタイムで把握できる

研究の実践3 (高学年)

第5学年授業実践

つよく心に残ったことを考えながら読もう
「ちかい」

〈本時の目標〉

ハンターに対するヤミーナの考えがどのように変容したのか
を読み取ることができる。

目指す児童像

登場人物の人柄や考え方、心情の変化と叙述とを関係付けて、
味わいながら読むことができる子ども

テーマに迫るための手立て

協調学習支援システム(KB)を生かした情報の共有化
～「交流活動」

気持ちの変化の一般化

各班の考えを一つのシート上に表現し、一般化する。

研究の実践3 (高学年)

第5学年授業実践

気持ちの変化の一般化

各班の考えを一つのシート上に表現し、一般化する。

1
ハンターになると動物を殺さないといけな
いから

2
そうのお母さんはハンターに殺されてしま
い、ハンターのこわさが、わかったから。

3
ハンターになるとお母さん象がうたれちゃ
って赤ちゃん象が1人になってしまうから

ヤミーナの気持ちが
変わった理由は？

4
ハンターに、小さいゾウのお母さん
が殺されて、かわいそうだったから。

5
子供の象のお母さんがハンターにやられて
かわいそうだから。

他の班の考えをもとに、グループ
の考えを深める。

研究の成果

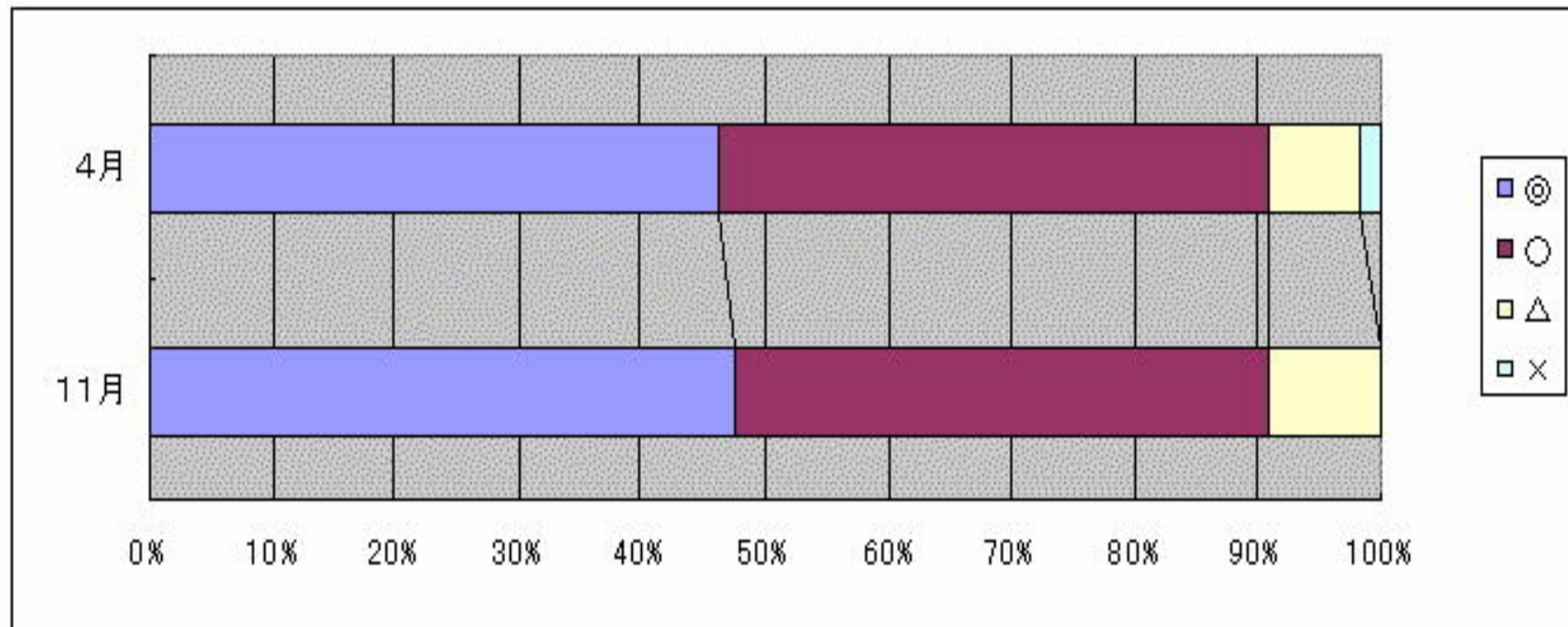
アンケート調査から

「書く活動」 展開時

「書く活動」 終末時

「交流活動」

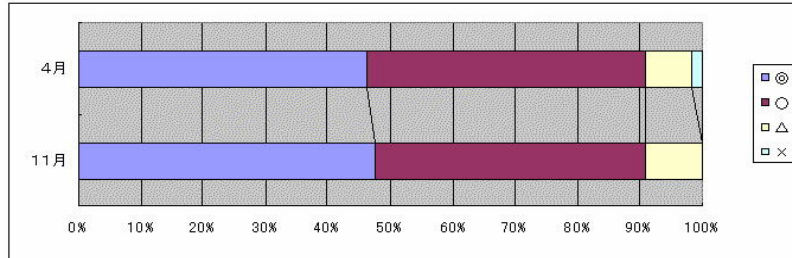
1 物語の学習で、サイドラインを引いたり、書きこみをしたり、ふき出しに書いたりすることが役に立つと思いますか。



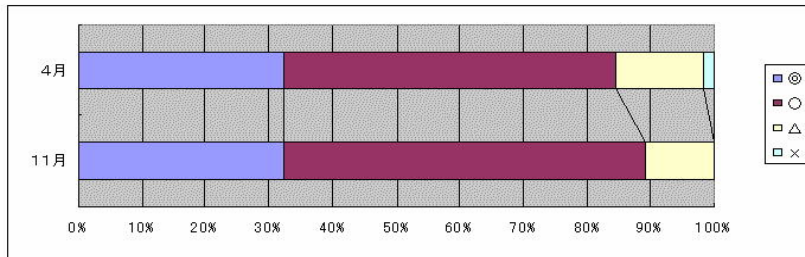
研究の成果

仮説1について

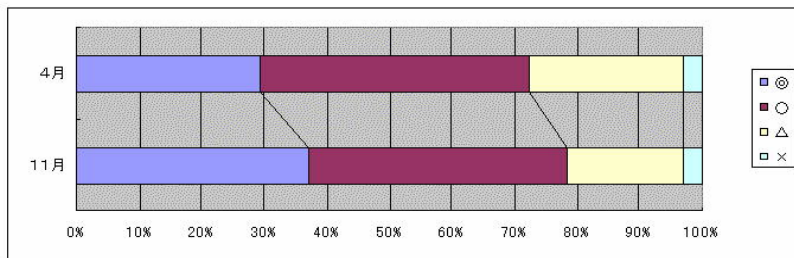
1 物語の学習で、サイドラインを引いたり、書きこみをしたり、ふき出しに書いたりすることが役に立つと思いますか。



2 物語の学習で、どのようにサイドラインを引いたり、書きこみをしたり、ふき出しに書いたりすればよいか、わかりますか。



3 物語の学習で、サイドラインを引いたり、書きこみをしたり、ふき出しに書いたりすることが得意ですか。



「書く活動」 展開時

一人学び

役に立つか？

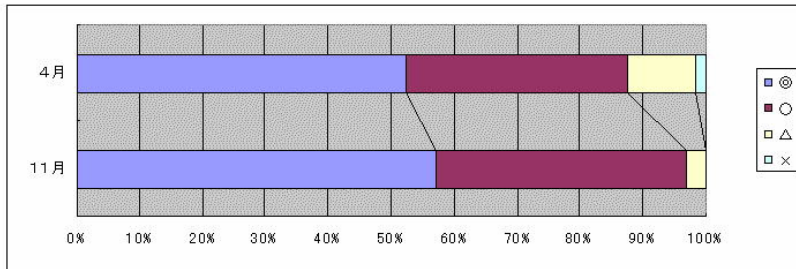
方法がわかるか？

得意か？

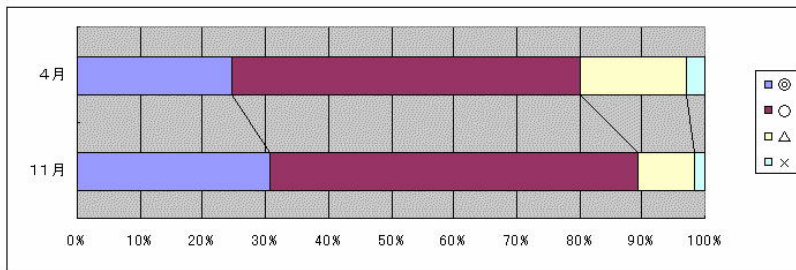
研究の成果

仮説1について

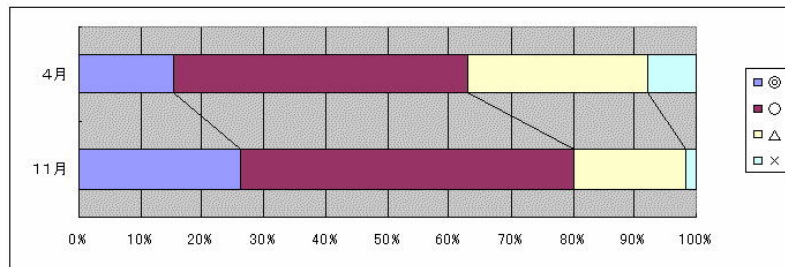
4 物語の学習で、(1時間の)まとめを書くことが役に立つと思いますか。



5 物語の学習で、どのように(1時間の)まとめを書けばよいか、わかりますか。



6 物語の学習で、(1時間の)まとめを書くことが得意ですか。



「書く活動」 終末時

まとめ

役に立つか？

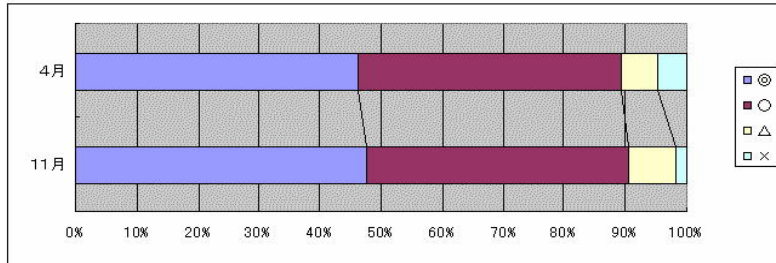
方法がわかるか？

得意か？

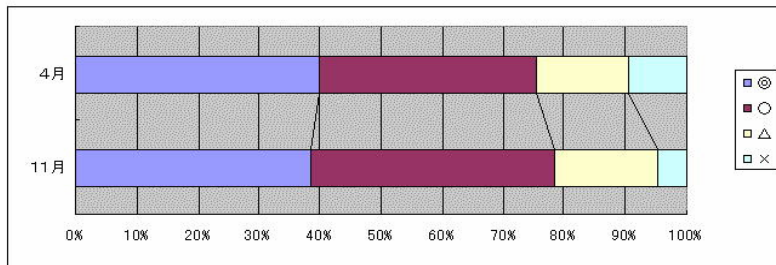
研究の成果

仮説2について

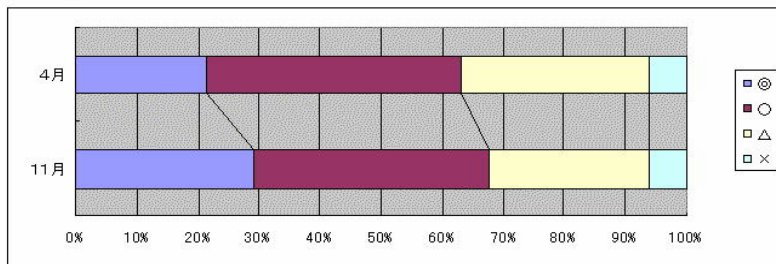
7 物語の学習で、友だちと意見を交換することが役に立つと思いますか。



8 物語の学習で、どのように友だちと意見を交換すればよいか、わかりますか。



9 物語の学習で、友だちと意見を交換することが得意ですか。



「交流活動」では・・・

役に立つか？

方法がわかるか？

得意か？

研究の成果

書く

目標の系統化

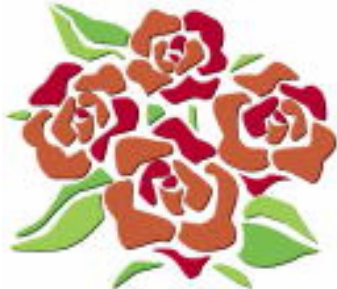
身に付けた力

読み取るための手だてが分かる

書く活動を生かした交流の場の設定

相手意識・目的意識をもった構成

児童の有用感



今後の課題

主体的な学びの姿を目指した学習方法

一人一人の評価意識を高める支援の在り方

ご静聴ありがとうございました

ことばの木

